

木材利用優良施設コンクール受賞施設について

木材利用推進中央協議会

1 木材利用優良施設コンクールの概要

木材利用推進中央協議会（会長：鈴木和雄 全国木材組合連合会会長）において、木材の利用分野の拡大や特色ある木材利用に資する優良な施設を平成5年度から表彰。最も優良な施設に対する「内閣総理大臣賞」をはじめとして、「農林水産大臣賞」、「国土交通大臣賞」及び「環境大臣賞」を授与。さらに、林野庁長官賞、協議会会長賞、審査委員会特別賞を加えた13作品を表彰。

2 受賞施設

審査委員会による審査の結果、今年度の受賞施設として、以下の施設を選定。各施設の概要については別添資料参照。

【内閣総理大臣賞（1点）】

- 白鷹町まちづくり複合施設（山形県西置賜郡白鷹町）

【農林水産大臣賞（1点）】

- mother's+（マザーズプラス）（北海道白老郡白老町）

【国土交通大臣賞（1点）】

- 魚津市立星の杜小学校（富山県魚津市）

【環境大臣賞（1点）】

- 有明体操競技場（東京都江東区）

【林野庁長官賞（3点）】

- morinos（森林総合教育センター）（岐阜県美濃市）
- 日光市本庁舎（栃木県日光市）
- WITH HARAJUKU（東京都渋谷区）

【木材利用推進中央協議会会長賞（4点）】

- FLATS WOODS 木場（東京都江東区）
- 長門市本庁舎（山口県長門市）
- 天草市複合施設「ここらす」（熊本県天草市）
- THE THOUSAND KYOTO KOMOREBIDO（京都府京都市）

【審査委員会特別賞（2点）】

- Hokkaido CLT Pavilion（北海道旭川市）
- 高知学園大学（高知県高知市）

<今後のスケジュール>

10月30日（金）表彰式（木材会館（江東区新木場1-18-8））

※ 別添参照

<参考>

主催団体 木材利用推進中央協議会

設立経緯 木材利用の推進及び木材需要の拡大に関する普及・啓発活動を展開することを目的として、昭和59年に「木材利用拡大協議会」の名称で発足し、平成7年に現在の名称に改称。

木材利用優良施設コンクールや木材利用に関するセミナーによる普及啓発活動、木材利用促進に係る施策・制度等の各種情報発信等の活動を実施。

役員【会長】鈴木和雄
（全国木材組合連合会会長の兼務）
【副会長】島田泰助
（全国木材組合連合会副会長の兼務）
会 員 林業・木材産業関係中央団体 17 団体
47 都道府県推進協議会